

# 玉東中学校 便り

## 【共に学び、共に感動を】

第二号 平成二十七年四月二十二日

新たな希望と決意を胸に、  
四十四名が入学しました。

四月九日（木）に前田町長様をはじめ多くのご来賓と保護者の皆様、本校職員と在校生に迎えられ、第五十一回玉東中学校の入学式を行いました。今年度は「起立、礼、着席」の号令をなくし、自分達の判断で行うよう事前に説明し本番に臨みました。新入生は見事にそれを実行することができました。生徒会長 長川裕生君の歓迎の言葉に続き、新入生を代表して山北小出身の菅本弥奈さんが、「明るい未来に向かって、誇りある玉東の一員として、自分の目標をしっかりと見定め立派な人間になるよう努力します。」と誓いの言葉を述べました。校長式辞では、次の三つのことを大切にして中学校生活を送って欲しいと話しました。

『第一は「自分を大切に  
する」ことです。中学校時代は、大人になるための基

### 氏名点呼を受ける新入生



礎を作る大切な準備期間です。そこで、自分自身を大切にしながら、自分に厳しく何事にも真面目に努力できる生徒であって欲しいと思います。真面目であることは、真剣さ・誠実さがあるということです。真剣で誠実な心構えを持つことは、きっと皆さんを成長させ、社会人としての基礎を作ることにつながります。

第二は「友達を大切にすることです。人は、生きていくためには、多くの人との関わりを持たなければなりません。しかし、自分と全く同じ考えの人はいません。人にはそれぞれ個性があります。長所も短所もあります。私たちは、つい人の短所に目がいきがちですが、ぜひ互いの良さを認め合いながら、共に高め合っ

て欲しいと思います。これからの学校生活の中で「良き友を作る」だけでなく、自らも「良き友になる努力」をしていってください。

第三は「時間を大切にすることです。中学校の三年間という限られた時間をどのように使うかは皆さん次第です。中学生の自分は勉強することです。学校生活の基本は授業です。時間を大切にすることは、一時間一時間の授業の中で、いかに集中力を発揮し、自分の能力を高める努力ができるかです。「光陰矢の如し」と言うように、時間はあっという間に過ぎ去ります。だからこそ、限られた時間を計画的に有効に使ってください。』

今年度は、全校生徒一三八名、職員二四名でスタートすることになりました。

教育の成果を上げるためには、学校と家庭との信頼関係の構築がなにより大切です。

学校と家庭が互いに手を携えて、子どもを中心に据えて、玉東中の更なる発展を目指し、全職員一丸となって教育活動を進めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いたします。

生徒会執行部が企画・運営し、  
歓迎遠足を行いました。

四月十六日（木）に、新入生を歓迎するとともに、生徒同士、生徒と教師の絆を深め、新しいクラスの団結を図ることを目的に歓迎遠足を行いました。春風を心地よく感じながら、レンゲ畑のあぜ道を歩き、田原坂公園まで約一時間かけて歩きました。お弁当を食べた後、生徒会の進行で対面式がありました。

まず初めに、三年生が劇を披露しました。怖い先輩に困まれ不安がつている一年生を守るために、玉東中の秘密組織「玉東レンジャー」五名が現れ、悪い先輩をやっつけるというストーリーで、会場は大いに盛り上がりました。次に新任の先生への質問コーナーや

### 正義の味方「玉東レンジャー参上」



くじで当たった生徒へのインタビューがあり、最後には即興で、芸人顔負けの職員の漫才まで飛び出し、会場は笑いの渦に巻き込まれました。

生徒と職員が共に楽しみ、共に親睦を深め合うことができた和やか春の一日となりました。

